

100年前のパリオリンピック1924

犬飼 英明 (P-49178・東京)

今から100年前の1924年、第8回オリンピックパリ大会が開催されました。第一次世界大戦の混乱を乗り越え、芸術と文化が花開くパリに世界44カ国から2972名の選手たちが集った大会を記念したフランスの切手・葉書・消印・カバーを中心に絵葉書やシール等も加えて展示します。

(本作品についての解説と記事が月刊誌「郵趣」4月号巻頭カラーページに掲載されていますので併せてご覧下さい。)

VIII^e OLYMPIADES PARIS 1924

第8回大会は第2回大会開催のパリで二度目の開催となり、19競技140種目が行われて、44カ国から3070名の選手が参加した。本大会からメダリストの増加に初めて選手村が開設され、競技運営にマイクホンが使われるようになった。競技ではアメリカが最も多くメダルを獲得したが、フィンランドのヌルミが陸上の8種目で優勝、サッカーで専断のウルグアイや水球種目のアルゼンチンなど南米勢も活躍した。日本は19名の選手を派遣し、レスリングの内藤克復がフェザー級で初の銅メダルを獲得。フランスは記念切手4種と記念葉書1種を発行し、パリを中心に記念消印も使用した。又、料額印面付き絵葉書9種も発売された。

フランス 100&250:1924-4-1発行 300&500:1924-5-23発行 4種葉



4種葉+公式シール2種貼葉書エンタライ 1924-6-5 コロンブ・オリンピック選手村 → パリ宛



VIII^e OLYMPIADES PARIS 1924

大会を記念し実施競技を描いた、料額印面付き絵葉書が9種セットで発売された。



VIII^e OLYMPIADES PARIS 1924

大会組織委員会封筒葉書運便 1924-3-27 パリ → パリ

